

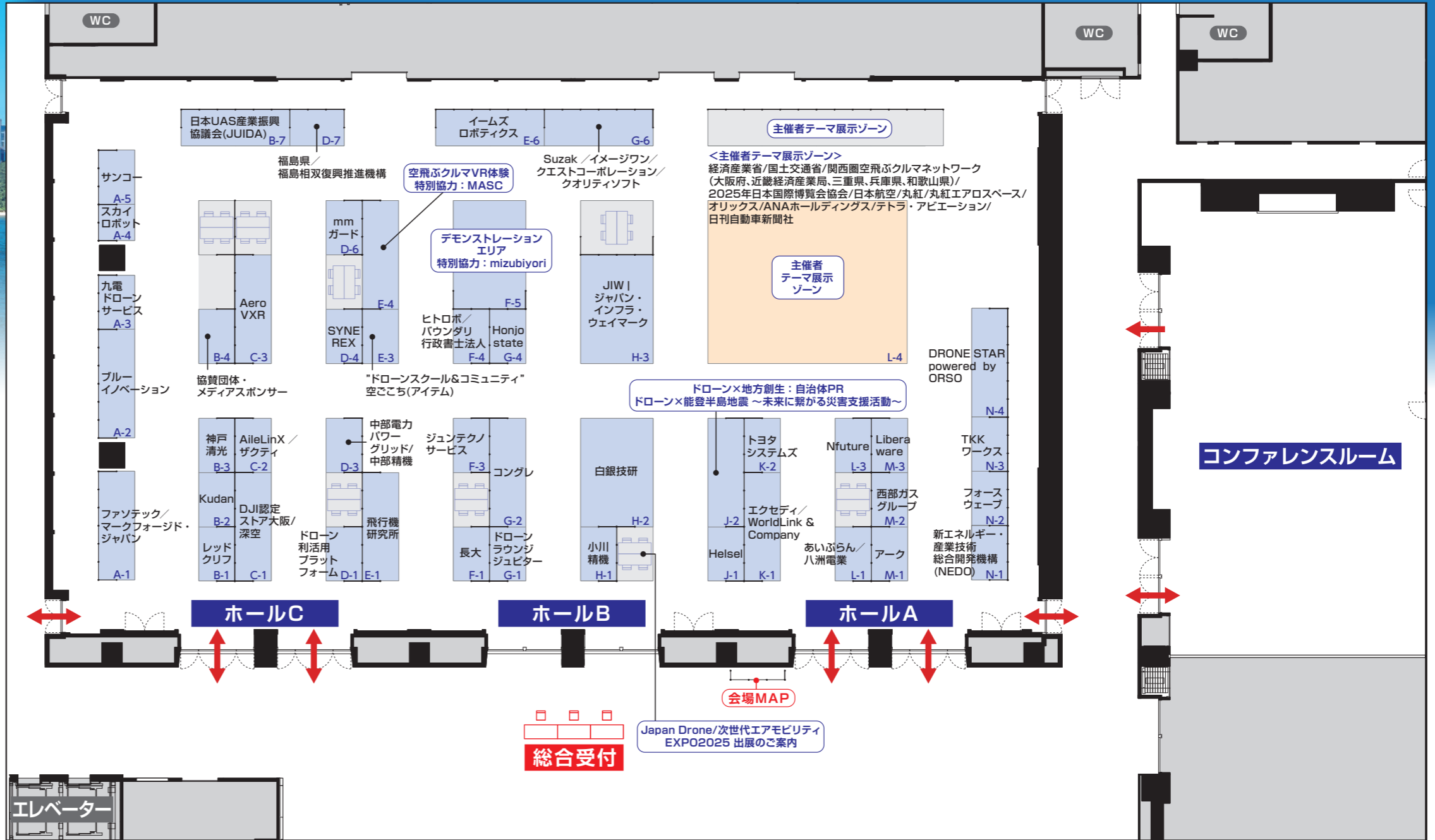
Japan Drone/次世代エアモビリティ EXPO2024 in 関西 会場MAP

関西
初開催!

会期 2024.12.18[WED]-19[THU] 10:00~17:00

開催テーマ Beyond2025
~万博のその先へ~

会場 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター グランフロント大阪・北館B2



主催 一般社団法人日本UAS産業振興協議会 (JUIDA)

共催 株式会社コングレ

後援 総務省近畿総合通信局、農林水産省近畿農政局、経済産業省近畿経済産業局、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、国土交通省大阪航空局、大阪府、大阪市(次世代エアモビリティEXPOのみ)、兵庫県、和歌山県、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)、公益財団法人大阪観光局、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会、一般財団法人関西観光本部、大阪商工会議所、関西広域連合、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、一般社団法人新経済連盟(JANE)、一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人強化プラスチック協会(JRPS)、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA) (順不同)

協賛 一般社団法人日本産業用無人航空機工業会(JUAV)、一般社団法人セキュアドローン協議会、日本ラジコン模型工業会(JRM)、一般社団法人ドローン撮影クリエイターズ協会(DPCA)、一般財団法人総合研究奨励会 日本無人機運行管理コンソーシアム(JUTM)、学校法人日本航空学園、一般社団法人日本建築ドローン協会(JADA)、一般社団法人日本ディープラーニング協会(JDLA)、一般社団法人全国自動車学校ドローンコンソーシアム、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会(JARD)、一般社団法人ドローンサービス推進協議会(DSPA)、一般社団法人日本航空宇宙工業会(SJAC)、一般社団法人日本水中ドローン協会、一般社団法人航空イノベーション推進協議会(AIDA)、一般財団法人航空保安無線システム協会(JRANSA)、日本エアモビリティ総合研究所 (順不同)

デモンストレーションエリアスケジュール (フライトデモ、水中ドローンデモ)

時間帯	2024年12月18日(水)	2024年12月19日(木)
10:40~11:10	mizubiyori	mizubiyori
11:40~12:10	ジュンテック/サービス	ジュンテック/サービス
12:40~13:10	mizubiyori	mizubiyori
13:40~14:10	HELSEL	HELSEL
14:40~15:10	mizubiyori	mizubiyori
15:40~16:10	mizubiyori	mizubiyori



スポンサー



Japan Drone/次世代エアモビリティ EXPO 2024 in 関西では、ドローンや空飛ぶクルマ(eVTOL)の利活用による様々な社会課題解決や新たな市場創出に向け、国内および関西地域における専門家による最新情報を皆さまにお届けいたします。事前聴講申込制となりますが、空席がある場合は当日参加も可能です。

事前登録制

2024年12月18日(水)

10:30-11:00 基調講演①

Japan Drone/IAAM EXPO 2024 in 関西～万博の先へ

鈴木 真二

一般社団法人日本UAS産業振興協議会(JUIDA) 理事長

Japan Drone展/ IAAM EXPOのこれまでの流れを紹介し、万博後を見据えたドローン、AAMの今後の展望に関して概観したい。



13:00-13:30 特別講演②

ドローン・空飛ぶクルマの利活用に向けた航空局の取組

齋藤 賢一

国土交通省 航空局安全部 無人航空機安全課長

ドローンについては、これまでレベル4飛行が実現し、レベル3.5飛行制度を新設した。今後、多数機同時運航に向けた検討を進める。また空飛ぶクルマについては、大阪・関西万博での運航の実現に必要な制度整備が完了し、引き続き、運航の拡大に向けた環境整備を進めている。これらドローンの更なる利活用や、空飛ぶクルマの実現に向けた取組を紹介する。



11:15-11:45 特別講演①

次世代空モビリティの社会実装に向けて

登壇者 滝澤 慶典

経済産業省 製造産業局 航空機器産業課 次世代空モビリティ政策室 室長

経済産業省では、点検、物流など多岐に渡る分野で活用が進むドローンの更なる利活用促進や2025年大阪・関西万博での空飛ぶクルマの運航実現など、次世代空モビリティの社会実装に向けて検討を進めています。本講演では取組の現状と課題、今後の取組の方向性等について紹介します。

12:20-12:40 出展者セミナー①

「ドローン防災」最前線

登壇者 柴崎 誠

ブルーイノベーション株式会社 ソリューション営業三部 部長

災害対応における新たな強力なツールとして、ドローンの活躍がますます注目されています。災害現場での迅速な情報収集をはじめ、孤立した地域への救援物資の輸送、さらには自動で避難呼びかけを行うドローンシステムなど、今まさに進化を遂げつつある「ドローン防災」の最前線を実際の事例を交えながら紹介します。



14:00-14:30 出展者セミナー②

ドローンを軽量化!最新のカーボン3Dプリンタ

登壇者 トーマス・パン

マークフォージド・ジャパン株式会社 代表取締役社長

最新のカーボン3Dプリンティング技術は、ドローンの機体開発や少量生産に必要な軽量化に最適なテクノロジーです。本講演では、この革新的なデジタル技術が現在どのように活用されているのか、そして、どのように活用することでドローン産業に貢献できるのかについて解説します。



15:20-16:35 パネルセッション

「Vertiport 関西の現状と将来の展望」

モデレーター 岩本 学 株式会社日本政策投資銀行 産業調査部調査役

パネリスト 杉山 良 オリックス株式会社 国内事業推進部 シニアアドバイザー

パネリスト 中村 康平 兼松株式会社航空宇宙部第1課 課長代理

パネリスト 古田 将空 関西電力株式会社 ソリューション本部 開発部門 eモビリティ事業グループ課長

2025大阪関西万博での注目コンテンツ、「空飛ぶクルマ」運航には欠かせないVertiport。関西での今後の運用を見据えたVertiportの現状と今後のビジョン、またかわる方々の思いを語っていただくパネルセッションです。



交流懇親会のお知らせ

12月18日(水) 18:00~19:30に交流懇親会を実施します。来場者も参加可能(3,000円)となりますのでご希望の場合は受付にてお問合せください。なお参加人数には限りがございます。(会場:ルーム8)

事前登録制

2024年12月19日(木)

10:30-11:00 特別講演③

総務省におけるドローン活用に向けた取組について

棚田 剛

総務省 近畿総合通信局 無線通信部長

ドローンは無線通信が不可欠なシステムであり、昨今のドローンの活用分野の拡大を受けて、総務省においても、ドローンの利用拡大に向けた様々な取組を進めている。本講演では、ドローンの電波利用を中心に、総務省が実施してきたドローン用周波数の利活用拡大に向けた取組やデジタル田園都市国家構想インフラ整備計画に関連した取組、今後の動向などについて紹介する。



11:15-11:45 基調講演②

万博でのチャレンジ、そして、その先の大阪・関西でのビジネス展開へ～大阪ラウンドテーブルのこれまでの歩みと成果～

登壇者 貞末 和子 大阪府 商工労働部成長産業振興室産業創造課 参事

登壇者 関 遼 株式会社Sorace 経営企画部 丸紅株式会社 株式会社SkyDrive

全国に先駆けて設立した「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」のこれまでの歩みを振り返るとともに、2025年大阪・関西万博にチャレンジする事業者の取組を紹介しながら、今後の大阪・関西でのビジネス展開について、それぞれの思いをパネルディスカッションで語ります。

12:15-12:45 出展者セミナー③

DJIドローン最新情報・活用事例/国家資格制度情報

登壇者 佐原 悠太

DJI認定ストア大阪/深空株式会社 営業部 部長

DJI製のドローン最新機種情報と、産業分野における活用事例をご紹介します。今後、ドローン操縦で必須になると思われる、ドローン国家資格制度の最新情報をご説明いたします。



13:00-13:30 出展者セミナー④

おさえておくべき航空法の最新動向と、ドローンの社会実装に向けた課題と展望

登壇者 佐々木 慎太郎

バウンダリ行政書士法人 代表

飛行許可申請代行をはじめとする法務サポートや国家資格スクールの運営支援・監査を実績を誇る、ドローン法務のプロフェッショナルが「航空法規制の最新動向」をいち早く解説する。またドローンビジネスにおける法的枠組みの整備や、無人航空機の飛行ルールの変容にも注目。さらに現場での活用事例をもとに、法改正と運用の課題をふまえて、ドローンの社会実装モデルのありかたを考える。



13:45-14:45 特別講演④

「瀬戸内九州AAM産業社会実装プログラム(CONOPS)」～革新的小型推進システム(SIPS) & 北九州空港Vertiport/ドローンポート Hub 中核の広域航空産業クラスター形成～

司会 千田 泰弘 一般社団法人日本UAS産業振興協議会 副理事長

瀬戸内海沿岸と九州を、大型ドローン/貨物専用空飛ぶクルマ(AAM)で結ぶため、北九州空港に新たにパーティポート及びドローンポートを日本で初めて設立します。このプログラムの実施により九州・瀬戸内・山陰・四国などの特産品の水産物を、大型ドローン/貨物専用空飛ぶクルマ及び、民間航空機の連携によって国内外の輸送が可能になり、市場販売までの行程が短縮されより新鮮な水産物をスピーディに市場にお届けすることが実現できます。今回、これらのエリアがプログラムの舞台となる背景、参加団体の役割、プログラム実施の際に用いられる技術やシステムについて、講演いたします。



第一部 舞台背景、参加団体の役割等について

登壇者 田邊 敏憲 エアロディベロップジャパン株式会社 代表取締役 田邊 敏憲

1. 国産SIPS搭載AAM(ドローン、空飛ぶクルマ) モノづくり
2. 北九州空港内Vertiport/ドローンポート Hubサービスづくり
3. なぜ瀬戸内九州地域なのか?
4. 活発な九州宇宙産業開発活動との連携

第二部 プログラム実施の際に用いられる技術やシステムについて

登壇者 保坂 淳一 一般社団法人MASC ビジネス開発部会 空域部会・ビジネス開発部会 飛行チーム

1. eVTOL 事業への(一社)MASCの取り組みについて
2. 次世代モビリティとして国内外で期待されるeVTOLの事業化に向けたMASCの取り組みと今後の展望

15:00-15:30 出展者セミナー⑤

愛知県「空飛ぶクルマの早期社会実装」に向けた取組

登壇者 仙波 寛正 株式会社社長 事業戦略推進統轄部 新イノベーション推進部 専門技師

登壇者 岡崎 万結夢 愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課 次世代産業室 主事

愛知県では、あいちモビリティイノベーションプロジェクト「空とつながる愛知モデル2030」を策定し、将来的な県内での空飛ぶクルマの普及を実現するため、「道徳飛行事業の早期社会実装」を目標に掲げ、本格的な取り組みを開始しています。本講演では、2024年度の調査として株式会社社長がこれまでに行った調査業務の内容を愛知県と共に発表いたします。



15:45-16:25 特別講演⑤

インフラ点検ビジネスの最新事情を語る～ドローンビジネス調査報告書2025【インフラ・設備点検編】から～

登壇者 河野 大助 ドローンジャーナル編集長/インプレス総合研究所リサーチャー

登壇者 青山 祐介 ジャーナリスト・ドローンビジネス 調査報告書著者

ドローンの商用利用の中で大きな存在となっているインフラ設備の点検ビジネス。このセッションでは、その分野の現状を分析した「ドローンビジネス調査報告書2025【インフラ・設備点検編】」をまとめたばかりの河野氏・青山氏から注目ポイント、課題や今後の展望までを伺いいただけます。どんな事例が飛び出さか、お楽しみに。



●各講演、事前登録制となります。満席となる場合は、当会場にてキャンセル待ちでの対応とさせていただきます。

聴講事前申込および最新情報は公式Webサイトよりご確認ください



出展者一覧

Table listing exhibitors categorized by M-1, L-1, G-2, etc., including companies like ANA, AileLinX, and various regional organizations.

● = ドローン関連製品展示 ◆ = 次世代エアモビリティ関連製品展示

主催者テーマ展示ゾーン

次世代エアモビリティ:空飛ぶクルマ・ドローンの社会実装に向けて

空飛ぶクルマ(eVTOL)およびドローンの社会実装に取り組まれている省庁、自治体、国内外の企業に加え関連メディアも含め、国の政策、ロードマップ、各事業者、航空会社、国内外のトップサプライヤーの取り組みなど横断的な展示ゾーンを設けます。特に今回は、大阪府様が取組む地域連携や大阪ラウンドテーブルの成果発表などの紹介やパネル展示もご紹介します。

- 参加機関・企業・団体: 経済産業省, 国土交通省, 関西圏空飛ぶクルマネットワーク(大阪府, 近畿経済産業局, 三重県, 兵庫県, 和歌山県), 2025年日本国際博覧会協会, ANAホールディングス, 日本航空, 丸紅, 丸紅エアロスペース, テトラ・アビエーション, 日刊自動車新聞社, コングレ (順不同)



ドローン×地方創生:自治体PR

ドローン撮影による観光資源の紹介。会場内、公式webサイト内で動画をご覧ください。

